

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年6月9日(2016.6.9)

【公表番号】特表2015-514552(P2015-514552A)

【公表日】平成27年5月21日(2015.5.21)

【年通号数】公開・登録公報2015-034

【出願番号】特願2015-509026(P2015-509026)

【国際特許分類】

A 6 1 C 19/02 (2006.01)

A 6 1 C 7/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 19/02

A 6 1 C 7/00

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月13日(2016.4.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

歯に取り付けるための基部を有する歯科矯正装具と、

窪みを有する容器であり、前記窪みは、底面、及び前記窪みの拡張された入口をもたらす一対の対向する非平行な側面を備え、前記側面は、前記基部の対向する側部と接触して前記窪みの中に前記装具を保持する、容器と、を含む、パッケージ化した歯科矯正アセンブリ。

【請求項2】

歯に取り付けるための基部を有する歯科矯正装具であり、前記基部は、一対の対向する外縁部を有する、歯科矯正装具と、

窪みを有する容器であって、前記窪みは、底面、及び一対の対向する側面を備え、各側面は、前記基部の外縁部を支持する棚部を含み、前記棚部は、前記装具を前記窪みの前記底面の壁部の上に浮かせるように作用する、容器と、を含む、パッケージ化した歯科矯正アセンブリ。

【請求項3】

パッケージ化した歯科矯正アセンブリを作製する方法であって、

窪みを有する容器であり、前記窪みは、底面、及び拡張された入口をもたらすように非平行な向きを有する一対の対向する側面を含む、容器を用意する工程と、

歯科矯正装具を少なくとも部分的に前記窪みの入口内に配置する工程と、

前記装具と、対向するそれぞれの側面との間の接触に基づいて、横方向に沿って前記装具を圧縮して保持するように、前記装具を前記底面に向けて圧迫する工程と、を含む、方法。